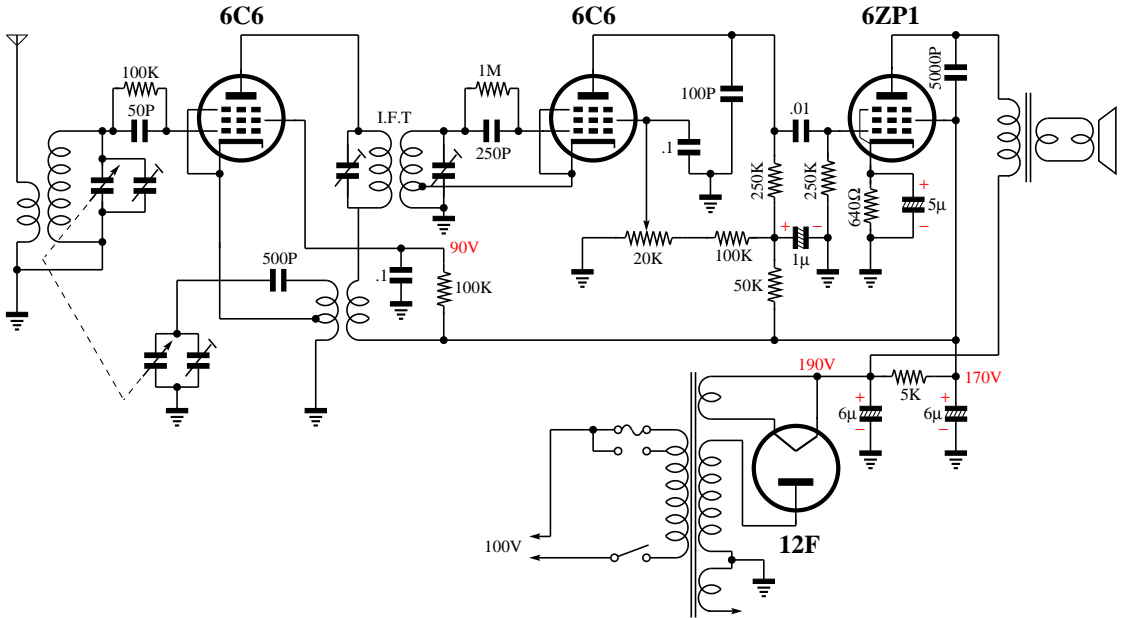


日本ビクターの4球スーパー

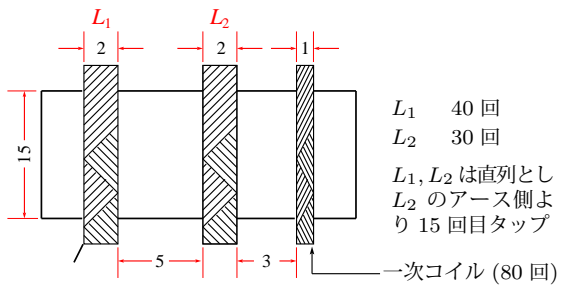


最近各方面より現在の高一再生検波四球国民型受信機の性能，特に選択度感度及音質の改善が叫ばれてきましたので今上記性能改善を目的とした四球スーパーを製作しました。部品は中間周波トランス以外は現在の国民型のものをそのまま使用しました。

回路は上に示してありますもので第一球が第一検波周波数変換，第二球が第二検波，出力は6Z-P1を用いた出力最大1W，5吋のパーマネントダイナミック使用のものです。

第一第二検波ともグリッド検波で，音量調節は第二球のスクリーングリッドの電圧を変化して行くと同時に再生度をも変化させます。

本機の感度は実効高4米の標準擬似空中線を使用し12 K Ω の終段無誘導負荷によ



発振コイル例

L₁ 40回
L₂ 30回

L₁, L₂ は直列とし
L₂ のアース側より
15回目タップ

一次コイル (80回)

り出力 50mW のとき放送波帯に於て 60~80 μ V 位で、選択度は全て 10KC 離調の点で 20db 以上あります。

電氣的忠実度は最高と 4000 $\%$ との差 7db, 100 $\%$ と最高値との差 5.5db です。

本機はスーパー用の Ut-6A7 等を使用せず安価にしかも簡単に入手し得られる UZ-6C6 を使用して 4 球スーパーを構成し、^{しか}而も前述の如き性能を^{ごと}発揮しております。読者諸氏の多少とも御参考とならば幸甚の至です。

(榎並利三郎)

PDF 化にあたって

本 PDF は、

『無線と実験』1948 年 1 月号

を元に作成したものである。

PDF 化にあたって、旧漢字は新漢字に、仮名遣いは新仮名遣いに変更した。漢字の一部には振り仮名をつけた。

ラジオ関係の古典的な書籍及び雑誌のいくつかを

ラジオ温故知新(<http://fomalhaut.web.infoseek.co.jp/index.html>)

に、

ラジオの回路図を

ラジオ回路図博物館(<http://fomalhaut.web.infoseek.co.jp/radio/radio-circuit.html>)

に収録してある。参考にしてほしい。